

弘前大学資料館



2012年にオープンした弘前大学資料館。文京町キャンパスにあり、「弘前大学 過去から未来へ」をテーマに大学の歴史や郷土、各学部・研究科についての資料をアブースで展示している。

旧制弘前高校で使用された掛け時計や、1945年の青森大空襲を免れて保管されていた青森医学専門学校校旗など前身となった各

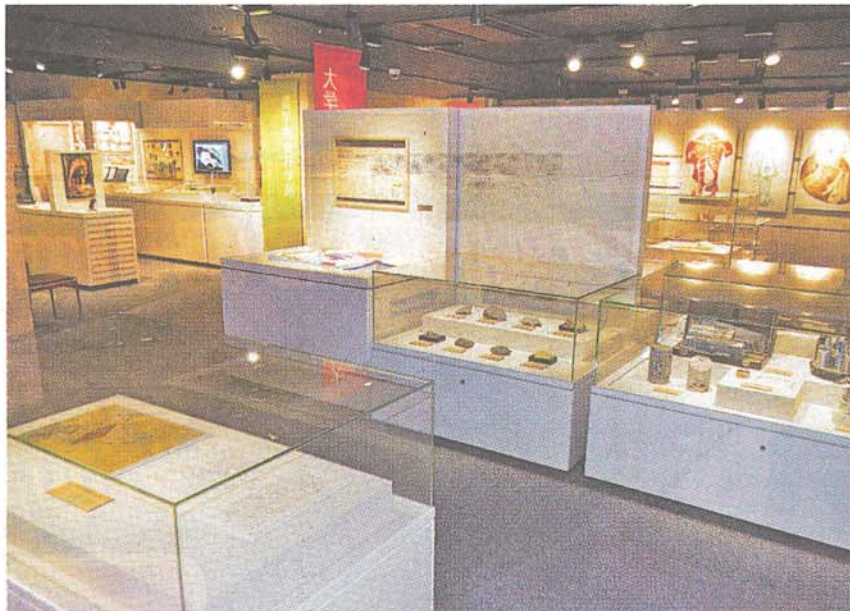
郷土の歴史も幅広く

校ゆかりの物や、新制大学となつてからの沿革を年表で紹介。

学部・研究科ごとの歴史や研究成果を紹介するブースでは、実験道具や放射能防護服、鉱物、動物の標本などを展示しており、専門的な教育、研究の一端に触れられる。

津軽の文化や郷土に関する資料も複数展示。太宰治の旧制弘前高校時代の直筆ノートなど弘大附属図書館所蔵の貴重資料や、弘大の歴代ねぶた絵全点の写真も

津軽の郷土資料や、弘大の教育、研究に関する道具・標本などが展示されている弘大資料館



あり、津軽の歴史にも親しめる。
開館は平日午前10時〜午後4時。学内の教員やグループによる企画展示も年に数回実施している。

※この記事は陸奥新報社の提供です。

[問い合わせ先]

弘前大学資料館 jm3432@hirosaki-u.ac.jp

この画像は、当該ページに限って陸奥新報の記事利用を許諾したものです。転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。